

専門実践教育訓練明示書（様式例）

講座の名称	東洋医療総合学科1部		
実施方法	① 通学（ 昼間 ・夜間・土日） ② 通信 スクーリング(回数 回)		
指定講座番号(15桁)	1310044	—	1420021 — 8
講座の創設年月日	昭和42年4月1日	過去一年の講座実績	入講者数(24人) 修了者数 (28人)
	専門実践教育訓練給付金対象講座の指定期間 令和8年9月30日まで		
訓練期間	36ヶ月	総訓練時間	2845時間
1. 教育訓練目標			
①取得目標とする資格の名称、目標レベル	<input checked="" type="checkbox"/> 業務独占資格・名称独占資格（あん摩マッサージ指圧師） <input type="checkbox"/> 職業実践専門課程（ ） <input type="checkbox"/> キャリア形成促進プログラム（ ） <input type="checkbox"/> 専門職大学院（ ） <input type="checkbox"/> 職業実践力育成プログラム（ ） <input type="checkbox"/> 情報通信技術関係資格（ ） <input type="checkbox"/> 第四次産業革命スキル習得講座（ ） <input type="checkbox"/> 専門職大学、専門職短期大学、専門職学科（ ） 教育訓練を通じて取得を目指す上記以外の資格等ははり師、きゅう師		
②①に係る資格・試験等の実施機関名称	厚生労働省		
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等	あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等に関する法律第2条第1号に該当すること。		
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況	独立開業、治療院・接骨院、病院・診療所・リハビリテーション施設、スポーツトレーナー、老人保健施設、ジム等のスポーツ施設、美容関連スタッフ等で資格を活かして勤務		
2. 教育訓練の内容			
教科（カリキュラム）	時間	使用教材名	
基礎分野	150時間		
専門基礎分野	745時間		
専門分野	1890時間		
基礎分野 人間総合科学大学	60時間		
3. 受講者となるための要件（この講座を受講するために必要とされている条件など）			
①受講するに当たって必要な実務経験等	特になし		
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準	高等学校卒業者と同等以上の学力		
③その他			

[特記事項]

--

専門実践教育訓練明示書

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況					
(1) 資格取得状況					
① 前年度の修了者数	28	人			
② ①に係る教育訓練の入講者数	32	人			
③ ②のうち目標資格の受験者数	28	人	受験率(③/②)	87.5	%
④ ③のうち合格者数	28	人	合格率(④/③)	100.0	%
⑤ ②(入講数)のうち就職者数 ※1	26	人			
⑥ ②(入講数)のうち在職者数 ※2	2	人			
<p>※1 前年度の修了者のうち、受講開始時に職に就いていなかった者で修了後に就職した者。 この場合、就職したとは、臨時的な仕事に就職した者は含まない。</p> <p>※2 受講開始時に既に職に就いていた者で、卒業後も引き続きその職にある者及び受講開始時に既に職に就いている者で、修了後に別の職に転職した者。</p>					
(2) 受講修了者による講座の評価等(令和6年度修了者)					
① 回答者総数	28	人			
② 受講開始時の就業状況等					
	1 正社員	0	人		
	2 非正社員、派遣社員	4	人		
	3 その他の就業(自営業等)	0	人		
	4 非就業	23	人		
③ 就業中の受講者による講座の評価	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	4	人		
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	0	人		
	3 社内外の評価が高まる	0	人		
	4 円滑な転職に役立つ	0	人		
	5 趣味・教養に役立つ	0	人		
	6 その他の効果	0	人		
	7 特に効果はない	0	人		
④ 就業していない受講者による講座の評価	1 早期に就職できる	1	人		
	2 希望の職種・業界で就職できる	8	人		
	3 より良い条件(賃金等)で就職できる	2	人		
	4 趣味・教養に役立つ	1	人		
	5 その他の効果	3	人		
	6 特に効果はない	6	人		
⑤ 受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	14	人		
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	6	人		
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	3	人		
	4 就職していない	0	人		
⑥ 講座の全体評価	1 大変満足	13	人		
	2 おおむね満足	12	人		
	3 どちらとも言えない	3	人		
	4 やや不満	0	人		
	5 大いに不満	0	人		
5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法					
1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法					
(通信制講座の場合)					
スクーリングの実施場所、時期、期間・回数					

専 門 実 践 教 育 訓 練 明 示 書

6. 受講効果の把握方法			
(1) 受講認定基準 (6ヶ月ごとの出席率・定期試験、進級試験等の具体的な基準)	授業時数の3分の2以上(実習については10分の9以上)出席した者に対し、授業科目終了時に試験を行う。60点以上を合格とする。		
(2) 受講認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	授業の評価は授業科目の評価(試験・実習状況・学習報告等)により行う。授業時数の3分の2以上(実習は10分の9以上)出席した者はその授業科目について評価を受けることが出来る。評価はABCPDの標語で表示し、60点以上(C評価以上)の者について該当科目の単位を認定する。		
(3) 修了認定基準 (出席率・修了認定試験等の具体的な基準)	修業年限の3年間に在学し、授業時数の3分の2以上(実習については10分の9以上)出席し、授業科目毎に60点以上又は合格評価を受ける事。教育課程の総単位数107単位(2845時間)を修得した者に、判定会議の審議を経て学校長が卒業を認める。		
(4) 修了認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	修業年限の3年間に在学し、授業の評価は授業科目の評価(試験・実習状況・学習報告等)により行う。授業時数の3分の2以上(実習は10分の9以上)出席した者はその授業科目について評価を受けることが出来る。評価はABCPDの標語で表示し、60点以上(C評価以上)の者について該当科目の単位を認定する。		
7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法			
(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	受講者に対して個人面談を実施して、知識・技能が不十分な者については学習相談を行っている。		
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例: 資格取得関連情報や資格関連職種の人事情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	国家試験対策として行う補習・模擬試験の実施。 就職ガイダンスの実施・個別面談。		
8. その他の事項			
指定教育訓練実施者名及び代表者名	学校法人衛生学園 (代表者名: 中村 芳明)		
住所及び連絡先	神奈川県横須賀市佐野町2-34 TEL 046-850-6310		
施設名称及び施設長名	東京衛生学園専門学校 (施設長: 光畑 昇)		
住所及び連絡先	東京都大田区大森北4-1-1 TEL 03-3763-6621		
苦情受付者	氏名 山下 明 所属 事務部長	事務担当者	氏名 山下 明 所属 事務部長
連絡先	TEL 03-3763-6621	連絡先	TEL 03-3763-6621
専門実践教育訓練経費	1. 専門実践教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②)		5,100,000 円
支払い方法 ① 一括払 ② 分割払 ③ 両方可	① 入学料(税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	300,000 円	
	② 受講料(税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	4,800,000 円 (第1期 800,000 円 第2期 800,000 円 第3期 800,000 円 第4期 800,000 円 第5期 800,000 円 第6期 800,000 円) (うち、必須教材費 円)	
	2. 専門実践教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④)		432,000 円
	① 任意の教材費(税込額)	円	
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額)	円	
	③ 施設維持費(税込額)	432,000 円	
	④ その他(法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代)(税込額)	円	
	3. 総額 (1+2) (税込額)		5,532,000 円